戦後80年特別企画展

時代を映す

大正・昭和初期 ポスター展

大衆が主役となった新時代、大正。
社会不安が高まった昭和初期。
そして戦争に突入し、終戦へ―
大正から昭和初期の激動の時代を、
農村の郵便局で掲示されていた
当時のポスターから振り返ります。

令和7年 2025 **11.22** 土
▶ 令和8年 2026 **2.23** 祝

青木村歴史文化資料館
（五島慶太未来創造館に隣接）

〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢3270-3
TEL･FAX 0268-49-0303

【開館時間】9時～17時（最終入館16時30分）
【休 館 日】月曜日･祝日の翌日･年末年始（詳細はホームページをご覧ください）
【入 館 料】無料
【アクセス】車▶上信越自動車道 上田菅平ICより車で30分
長野自動車道 麻績ICより車で30分
公共交通機関▶JR北陸新幹線上田駅より
千曲バス青木線･青木行きに乗車（30分）
終点「青木バスターミナル」から徒歩5分

主催：青木村歴史文化資料館・青木村教育委員会

五島慶太未来創造館 ホームページ

戦後80年特別企画展

時代を映す

大正・昭和初期 ポスター展

ラジオ放送開始、普通選挙法制定など、新たな文化や制度が生まれた大正は、大衆が主役となった時代でした。その後関東大震災を経て迎えた昭和は、経済恐慌、政治不安など、不穏な空気を抱えながらそのスタートを切りました。こうした社会不安を背景に日本は徐々に戦争に突き進んでいき、人々の生活は戦争一色に染まっていきました。

このたび、青木村歴史文化資料館では、大正4年から昭和16年までに発行されたポスターを多数寄託いただきました。いずれも、青木村に隣接した浦里村（現上田市浦野）の郵便局で掲示されていたポスターです。

当時の郵便局は逓信省の管轄にあり、郵便事業、貯金、簡易保険のほか、ラジオ放送や電話をはじめとする通信事業など、さまざまな事業を行っていました。これらを周知するため、効果的な広告ツールとして使われていたのがポスターです。当時のポスターは、人々の暮らしが大きく揺れた時代の世相を鮮明に映し出しています。

本年は戦後80年の節目の年でもあります。ポスターを通して激動の大正・昭和初期を振り返るとともに、写真や生活資料の展示から地域の人々の暮らしを考えます。

特別協力：渡辺惣伸 氏

〈トークイベント〉

大正・昭和初期
ふるさとの映像・写真

2.1 日 10時から11時

解　説：渡辺惣伸 氏

浦里村を中心とした、上小地域の大正・昭和初期の写真と映像を、スライドショーで紹介します。

昭和15年4月20日　浦里郵便局

〈ワークショップ〉

大切な人に手紙を送ろう
かんたんステンシルでクリスマスカードを作ろう

12.14 日 ①10:00～12:00 ②13:00～14:00

未就学児の方は保護者の方と一緒に参加ください。

青木村歴史文化資料館
（五島慶太未来創造館に隣接）

〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢3270-3
TEL・FAX 0268-49-0303

【開館時間】9時～17時（最終入館16時30分）
【休 館 日】月曜日・祝日の翌日・年末年始（詳細はホームページをご覧ください）
【入 館 料】無料
【アクセス】車▶上信越自動車道 上田菅平ICより車で30分
長野自動車道 麻績ICより車で30分
公共交通機関▶JR北陸新幹線上田駅より
千曲バス青木線・青木行きに乗車（30分）
終点「青木バスターミナル」から徒歩5分

五島慶太未来創造館ホームページ

主催：青木村歴史文化資料館
青木村教育委員会